

議会だより

2016

平成28年8月1日発行

No.20



えがおで田植え 一満濃南小学校

Contents

新たな議会構成になりました

- ② 議会常任委員会名簿
- ③ 第2回臨時会/6月定例会
- ⑥ 委員会報告
- ⑩ いっぺんきてつか 議会報告会
- ⑭ 9人が町の考えを問う 一般質問
- ⑳ 議会からこんにちは
仲南地区 新規就農者
非農家から農家へ『燃える若者』

新たな議会構成になりました

議長



議長
田岡 秀俊



副議長
白川 正樹

議長あいさつ

去る4月27日の臨時会において議員各位のご推挙により、議長職を拝命いたしました。改めてその責任の重さを痛感しているところであります。

議会とは、住民のみなさまより負託を受けた議員が、町政をチェックし、よりよい町づくりのために議論する場であります。

今後もそれぞれの議員の自由闊達な発言を促し、議員間討議を重視することにより、一致点を見出し、町執行部と相対してまいります。また、より開かれた親しみやすい議会を目指し、町内外に情報発信していきたいと思っております。

みなさまの忌憚のないご意見をお聞かせ下さい。



常任委員会

総務常任委員会



委員長

大西 豊

副委員長

大西 樹

委員

松下 一美

竹林 昌秀

白川 正樹

教育民生常任委員会



委員長

三好 勝利

副委員長

川西米希子

委員

白川 皆男

三好 郁雄

田岡 秀俊

建設経済常任委員会



委員長

川原 茂行

副委員長

白川 年男

委員

藤田 昌大

関 洋三

合田 正夫

議会運営委員会



委員長

藤田 昌大

副委員長

関 洋三

委員

川原 茂行

大西 豊

三好 勝利

竹林 昌秀

平成28年6月定例会

開催期間 6月2日～14日(13日間)

6月定例会は、6月2日から6月14日までの会期で開き、町職員の定数に関する条例の一部改正や町道路線の認定、工事請負契約の締結など6議案を可決承認した。

平成28年第2回臨時会

開催日 4月27日

第2回臨時会を4月27日に開き、専決処分3議案の承認と人権擁護委員を推薦した。また正副議長を指名推選し、所属委員会の変更と議会選出各委員等の選出をおこなった。

平成28年第2回臨時会 (会期:平成28年4月27日)	
議案第1号	専決処分の承認について (まんのう町固定資産評価審査委員会条例の一部改正)
議案第2号	専決処分の承認について (まんのう町税条例の一部改正)
議案第3号	専決処分の承認について (まんのう町国民健康保険税条例の一部改正)
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について
平成28年6月定例会 (会期:平成28年6月2日～14日)	
議案第1号	まんのう町職員の定数に関する条例の一部改正について
議案第2号	まんのう町道路線の認定について
議案第3号	字の区域の変更について
議案第4号	字の区域の変更について
議案第5号	財産の取得について
議案第6号	工事請負契約の締結について (平成28年度 四条小学校校舎棟等大規模改修工事)
	閉会中の継続調査について

●平成28年

第2回臨時会

即決案件

議案第1号

専決処分の承認(町固定資産
評価審査委員会条例の一部改
正)

行政不服審査法改正に伴い、条
例の適用区分を追加した。

原案可決

議案第2号

専決処分の承認(町税条例の
一部改正)

地方税法の改正が行われ町税条
例の一部改正を行った。

原案可決

議案第3号

専決処分の承認(町国民健康
保険条例の一部改正)

地方税法の改正が行われ町国民健
康保険条例の一部改正を行った。

討論

◇反対

【藤田昌大議員】 軽減であれ、増額
であれ、町民生活に直接影響する
部分だ。それを軽々しく専決処分
をする国の方針が、おかしい。反
対する。

◇賛成

【竹林昌秀議員】 賦課徴収こそ議会
の出番であり、専決処分は望まし
くないが、今回の増減は軽微であ
り賛成する。

原案可決

諮問第1号

人権擁護委員候補者の推薦

被推薦者

○北山 信夫 氏

議長・副議長選挙

指名推選

議長

○田岡 秀俊

副議長

○白川 正樹

●平成28年

6月定例会

即決案件

議案第1号

町職員の定数に関する条例の一
部改正

町長の事務部局の職員を191
人から156人に、教育委
員会の事務部局の職員を6
0人から80人に改正した。

原案可決

議案第5号

財産の取得

老朽化のため新たにパツ
カー車を購入した。

【契約者】

四国機器株式会社

【契約金額】

金1099万3890円

原案可決

議案第6号

工事請負契約の締結(平成28
年度四条小学校校舎棟等大規
模改修工事)

【契約者】

まんのう経常建設共同企業体

【契約金額】

金1億6848万円

原案可決



購入予定のパッカー車(イメージ)

建設経済委員会付託

対象地の現地確認を行い、執行部より詳細な説明があった。

議案第2号

町道路線の認定

原案可決

県道炭所西・普通寺線の区域の変更に伴い430m間を町道路線名「鐘場杉ノ上線」に変更した。



県道を町道に（右側：鐘場杉ノ上線）

議案第3号

「炭所東字の変更」について

●主な質疑と答弁

【執行部】炭所東字浪差に炭所西字草井坂3番、9番、19番、20番を編入するものである。

【委員】炭所東の中に炭所西の地番が入った経緯は。又、その各地番の合計面積は。

【執行部】経緯は不明である。合計

面積は約4反ほどである。炭所東字浪差に属する土地と一体的な利用がなされており、地番、境界も不明である。現実にあった調査を進めるため新字界を定める。

原案可決



新字界となった炭所東浪差

議案第4号

「炭所西字の変更」について

・炭所西字成政に炭所西字草井坂46甲、46乙を編入する。
・炭所西字八幡岡に炭所西字小山谷488番、乙3464番を編入する。

●主な質疑と答弁

【委員】具体的にはどういうことなのか。

【執行部】平成27年度の調査において、とび字となっていることが判明したため字の変更が必要となった。

原案可決



新字界となった炭所西小山谷

教育民生常任委員会

- 温泉バス
- 産後の女性支援
- 大規模改修
- ゴミの不法投棄
- 町歯科診療所

温泉バス 高齢者福祉の充実を

【三好勝利委員】仲南地区から、琴南地区にある「エピアみかど」への運行の要望がある。検討はできないか。
【健康増進課長】今後、所管課と検討したい。



憩いといやしの場 エピアみかど

産後の女性を支える 出産後の心と体を 整えるために

【川西米希子委員】全国的には、産後デイケア事業を実施する自治体もある。本町での取り組みについてはどのように考えているのか。

【健康増進課長】産後デイケア事業には取り組まないが、助産師会の協力により行っている乳幼児家庭訪問時に相談と情報提供を行う。

大規模改修／四条小学校 現場の声を生かした 改修を

【三好勝利委員】校長先生をはじめとする小学校の先生等の意見をしっかりと聞いて改修してほしい。



【学校教育課長】学校関係者の意見をしっかりと聞いて改修を行いたい。



四条小学校の雨漏れ調査

ゴミの不法投棄 犯罪を許さない 対策を

【川西米希子委員】3月の処理件数が極端に多いが、理由などの分析はしているのか。今後、増えていく可能性もあると思うが、どのような対策を考えているのか。



捨てられ散乱したゴミ（イメージ）

町歯科診療所 生涯現役を支えるために

【田岡秀俊委員】現在の医師が着任して一年になるが、住民の評判はどうか。受診者の町内外の割合は。
地域医療の拠点として、予防医療にもさらに取り組んでくれることを期待している。
【琴南支所長】評判は良い。治療と定期健診については、ほぼ町内の人である。訪問診療については、町外の人が多い状況である。

住民生活課長

投棄物の内容は、記録として残しているが、分析まではできていない。広報誌や行政放送で呼びかけたり、ダミーの監視カメラを設置したい。



地域医療のとりで

建設経済常任委員会

- 地籍調査
- 地震対策
- イノシシ被害対策
- 農業対策
- 漏水対策

地籍調査

今年度の地籍調査は

〔関洋三委員〕進捗状況にはどうなっているのか。

〔地籍調査課長〕今年度は炭所西字安養寺から片岡について行ない、本年度で炭所西地区が終わる予定である。

地震対策

個人の住宅耐震について

〔百川年男委員〕地震が多発しているが、本町の民間住宅の対応等は。

〔建設土地改良課長〕住宅耐震対策事業は昭和56年5月31日以前に建てられた住宅が対象となり、耐震診断をおこなない、上部構造評点が0・7未満であれば改修補助が受けられる。



苦心するイノシシ対策

イノシシ被害対策 イノシシ補助金の 増額と処理施設

〔合田正夫委員〕イノシシ対策の拡充にどう取り組むのか。

〔農林課長〕イノシシ捕獲補助金について1年を通じて1万円とになった。また、解体処理施設については検討中であるが、個人が取り組む場合には支援を検討していく。

農業対策 国土保全

〔川原茂行委員〕多面的機能に取り組んでいない地域に指導はしているのか。

〔建設土地改良課長〕十分周知はしているが、事務処理等が複雑なため、高齢者の多い地域では取り組みにくい。

漏水対策

漏水の心配はないか

〔藤田昌大委員〕ある地区で有収率が著しく低下しているが、その原因は。

〔水道課長〕この地域で漏水が重なったためで、現在は復旧している。全体的には有収率は80%前後に保たれている。



全町に安全な水を配る水道局



総務常任委員会

- 交通安全
- 統計数字
- 旧仲南公民館
- 農耕用車両
- 事業計画



動線はスムーズに

交通安全

現場に合った安全を

【松下一美委員】交差点の改良工事は終わっているが、車両が直進する場合、歩道の縁石に乗り上げそうになる危険な箇所がある。なんとかならないか。
 【総務課長】危険箇所については、道路管理者と協議して対応する。



周辺に影響のない解体を

統計数字 正確な情報を

【白川正樹委員】交通事故死者数は事故後24時間以内に死亡が確認されたものとなっているが、24時間経過後に、明らかに交通事故が原因で死亡した場合、数に入れないのは、おかしいのではないか。
 【総務課長】事故死の扱いは統計上の決まりでカウントされている。町単独では、どうにもならない。

旧仲南公民館 周辺に配慮を

【白川正樹委員】公民館解体工事の際、アスベスト除去については、こども園、小学校が近いので、十分配慮するように。
 【仲南支所長】入札参加には「実績のある業者で処理等」の条件を明記している。

農耕用車両

交通法規をまもって

【大西樹委員】トラクターや運搬車などの農耕車で道路を自走するのナンバーを付けてないのが多いようだが、事故等の際、困らないようにナンバー付けを周知したらよいのではないか。
 【大西豊委員】販売業者の責任において、届け出義務があるのではないか。
 【税務課長】周知を徹底したい。



公道走行にはナンバーを

事業計画 町の未来を

【松下一美委員】BCP(事業継続計画)の早期策定を。
 【総務課長】早急に策定に向けて検討したい。

※BCPは災害など不足の事態を想定して、事業計画の視点から対応策をまとめたもの。

～広報クリニックを受けました～



まんのう町議会だより19号について
アドバイスを受ける

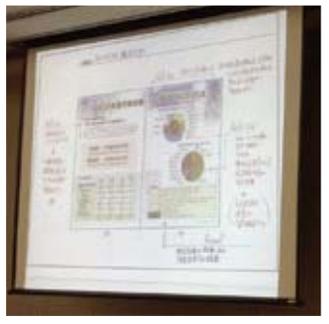
「町村議会広報クリニック」と題して、グラフィックデザイナーである長岡弘光先生の講義と「議会だより19号」の添削を受けました。
講義では、下記の3点について学びました。

- ① 住民にわかりやすい紙面構成。
- ② 住民に読んで頂くための紙面編集。
- ③ 住民に見やすい紙面表現。

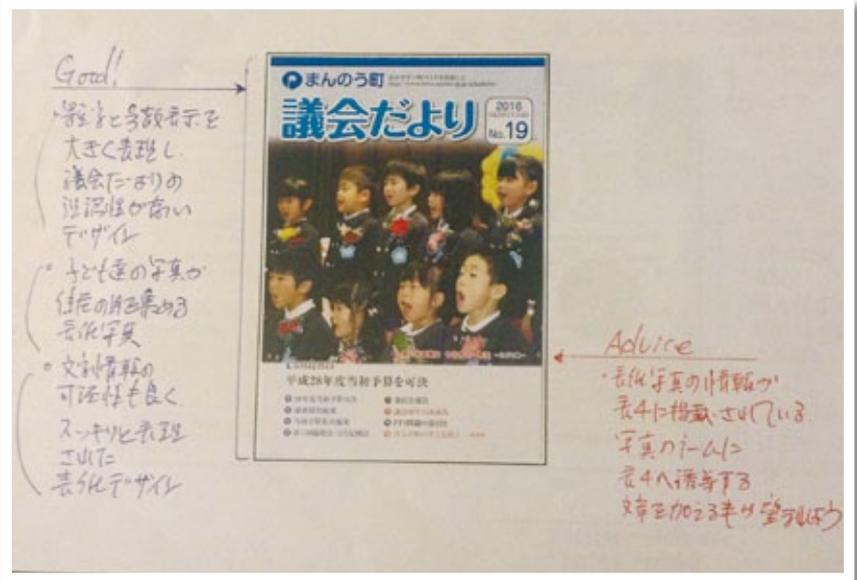
● 議員の一般質問に、ホームページへの誘導文が表示されている。
（アクセスが容易に図れるようにURLの表示をするとよい。）
● 情報の流れを考慮した紙面配置が必要。
（関連情報は隣接した紙面に配置。）
● 文字表現に工夫が必要。又、ひき出し線を用いた表現は、事業項目を揃えることで見やすくなる。）

● 議員の一般質問に、ホームページへの誘導文が表示されている。
（アクセスが容易に図れるようにURLの表示をするとよい。）
● 情報の流れを考慮した紙面配置が必要。
（関連情報は隣接した紙面に配置。）
● 文字表現に工夫が必要。又、ひき出し線を用いた表現は、事業項目を揃えることで見やすくなる。）

又、「議会だより19号」については、代表的な指摘事項とその改善策（ ）内が、改善策）として、
● 円グラフの中の文字が読みづらい。
（文字表現に工夫が必要。又、ひき出し線を用いた表現は、事業項目を揃えることで見やすくなる。）



スクリーンでアドバイス



Good! と Advice

いっしょにぶん来てつか

もっと身近な議会に！



第9回議会報告会の開催

議会報告会は議会活動、町政について直接報告するとともに、自由に意見や情報を交換する場として開催しています。

5月10日、11日に町内6会場において開催し、63名の皆さんと、防災、農業振興、有害鳥獣対策その他多くの課題について活発な意見を交わしました。

農業

**農地を荒らしたら
いかんと思うなあ**

問 高齢で、後継者もなく維持管理が困難となり、どうすればよいのかと悩んでいる人もいます。

答 まんのう町にとって農業は重要である。

議会、地域が一体となって考えなければいけない問題である。集落単位で、農業生産の全体、または、一部分に協力して取り組む「集落営農」も考えてはどうか。

防災

**助け合いの為に
知つとかないかん情報もあるぞ**

問 現在は、個人情報保護ということ、助け合いの為に必要な情報収集も難しくなっている。

答 仲南地区には、相互に助け合う5軒組制度が浸透している。日頃から近所で助け合う意識があれば、情報は自然と知ることができるところでは。相互に助け合う取り組みが町内に広がっていくことが必要だと思う。

高齢者の移動手段

**困つとる人がようけおる
なんとかできんのかな**

問 デマンドタクシーを琴平町の病院まで運行させるなど、もっと利用範囲を拡大できないものか。

答 議会としても、高齢者の移動手段は重要課題であると認識している。民業圧迫は避けなければいけないが、議会の中でも十分に話し合っていきたい。



長炭公民館



琴南公民館



琴南総合センター

その他の町民の皆さんからの意見をいくつか紹介いたします。

農業

- ① 儲かる農業とならなければ若い人は農業に魅力を感じない。6次産業化も必要では。
- ② 人口減少対策というが、儲かる農

業にして人を町にとどめる方が対策としては早いのではないのか。

③ 農業をしたいと思っても田・畑が手に入らなければやりようがない。方法があるなら、どんどん情報提供してはどうか。

防災

- ① 安否確認の為に、夜間どこで就寝しているのかなど知っておく必要があると思う。
- ② 防災に関しては、ある程度の個人情報提供も必要なのでは。



ひとりを支えるしくみが必要



仲南支所

自治会

- ① ひとり暮らしの人が増えていて、自治会での役割が果せないなどの理由で退会を希望する人も出てきている。
- ② 自治会で、自主防災組織を作った場合「未加入世帯をどうするのか」という問題がある。

空家対策

- ① 生活体験（移住体験）が必要。受け入れ体制を作ってはどうか。
- ② 放置されると景観も悪くなるなど困る。使える空家を利用するしくみを。
- ③ 移住者の受け入れについては地域における合意形成が重要だと思う。
- ④ 地域に馴染む人に移住してもらいたい。



放置され雑草に覆われた空家（イメージ）

人口減少

- ① 子どもが増えていかなければ、やがては、自治会そのものが成り立たなくなる。婚活支援に町としてもっと積極的に取り組んでほしい。
- ② 婚活支援チームを立ち上げてはどうか。



企業を支える・地域を支える若い力



神野公民館

若者定住

- ① 企業誘致により雇用を創ることが絶対必要。
- ② 災害からの復旧復興においても若い人の力は頼もしく必要。
- ③ 子育てしやすい環境が求められている。充実した支援が大切である。



満濃農改センター

有害鳥獣対策

- ① イノシシの肉をジビエとして売り出してはどうか。
- ② 町だけの対策では限界がある。広域的対策が必要だと思う。



イノシシ肉を使ったソーセージ（東ががわ市五名の視察にて）

今回の議会報告会（意見交換会）におきましても、皆様の貴重なご意見をたくさん頂きました。大変ありがとうございます。皆様からのご意見を参考に議会のなかでも十分に話し合っていきたいと思っております。

陳情と請願（町民の声を議会に!!）

地方自治法では、住民の声を町政に反映させるために陳情と請願を提出できる様になっています。

議会において採用された町政に関する請願を、執行部は誠実に処理する必要があり、議会は執行部に経過及び結果を請求する事ができます。

そんな、皆さんの声を町政に反映する陳情と請願について、手続きとその流れを説明します。

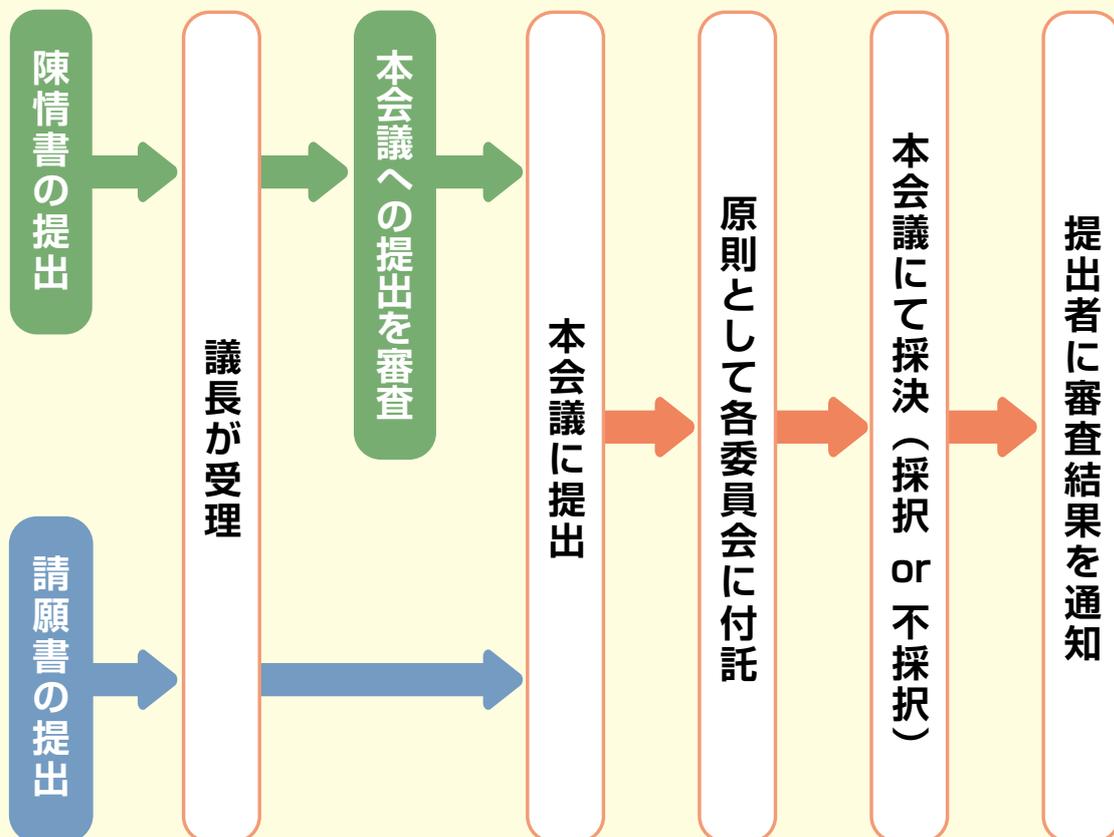
陳情と請願の違い

陳情

- 議員の紹介を必要としない。
- 議長に提出後、議長もしくは議会運営委員会での協議により、議会に提出されない場合がある。

請願

- 議員の紹介を必要とする。
- 議長に提出後、自動的に本会議に提出される。



議員名	質問内容
川西米希子	・まんのう町子育て応援アプリについて（子育て支援の拡充）
関 洋三	・中寺廃寺跡登山者の救助体制について ・救急車両の待機場所安全確保について ・災害時の安否確認体制について
竹林 昌秀	・職員の人事評価をどのように行うのか ・住民の生涯学習を如何に伸長し、育成するか ・地籍調査の進捗への展望を問い、行政への反映手法を問う
藤田 昌大	・少子化対策の充実 ・小規模農業従事者対策
白川 年男	・ふるさと納税について ・農産物等への本町の取り組み方
川原 茂行	・農林業振興について
合田 正夫	・中学校駐車場について ・歩道について（町内全域）
三好 勝利	・多治川ダムの再構築について ・地元米のブランド化の推進について
大西 豊	・まんのう町を元気にするために、今、何をすべきか ・集落営農組織及び法人化の現状について

議員



町長・教育長

議員が町の考えを問う

6月定例会では、9人の議員が一般質問を行いました。議員情報等は、まんのう町ホームページ（議会情報）に掲載していますので、ご覧ください。

そうだ、議会へ行ってみよう！

次回の定例会は
9月に開催予定です。

町議会は、どなたでも傍聴できます。
会議日程は、ホームページ、告知放送でお知らせしています。

詳しくは議会事務局へ ☎0877-73-0109



議会の傍聴席（後方）

まんのう町 HP 議会情報 <http://www.town.manno.lg.jp/gikai/>

町長 スマートフォンでの専用アプリケーションなど、最近の情報発信方法も視野に入れ、調査研究に努めるとともに「子育て情報ブック」をより

考えか。
 子育て支援に関する情報発信などを行うことについてはどのようなようにお考えか。
 子育て家庭を対象とした子育てに関する多様な情報の提供を、多くの子育て世代の人が利用しているスマートフォンで行う。「情報伝達アプリ」の開発導入について、また、無料通信サービス「ライン」を利用して子育て支援に関する情報発信などを行うことについてはお考えか。



おおくの情報伝達で子育てを応援

子育て支援の拡充

問 応援アプリの開発と「ライン」の利用を新しい情報発信方法として調査研究したい



川西 米希子 議員

川西 今後はソーシャルメディアを 見やすく改良充実させるなど住民利用した子育て支援（情報発信）な サービスの向上に努めたい。「ライン」の活用についても検討

子育て家庭を対象とした子育てに していきりたい。

救助体制

問 中寺廃寺跡 登山者の安全を関係機関で連携する



関 洋三 議員

関 現場近くの案内板には「自力で下山できない人は町役場へ連絡下さい」となっているが、救助体制はどのようなものか。

町長 自己責任が基本だが連絡を受けた場合は警察や消防署と密接に連携し、捜索や救助を行う。

救急車

問 安全な待機場所を管理者側と相談

関 県道岡田善通寺線付近では、受け入れ病院先が決定しないまま停車を余儀なくされる救急車両を見かけるが、安全に停車できる場所を確保したらよいと思うが如何。

町長 県道管理者側と相談のうえ通行車両に支障がないように工夫したい。



避難所にある現場案内板

安否確認

問 災害時にどう対応する
答 総合計画で見直し

関 災害が起るたびに、安否確認の重要性を認識するが五人組など新しいコミュニティ組織の構築などを勧めてはどうか。

町長 必要性を感じるので、町の総合計画見直し時に十分に検討していきたい。

人材育成のために

問 人事評価の趣旨と目的、手法を問う
答 人材育成のためである

竹林 何のために職員の人事評価を行うのか。

町長 職員の人材育成のために行つ。行政サービスの向上を目指す。

竹林 どのように準備してきたのか

町長 平成22に構築し、平成23から試行した。職員研修と評価者研修の二本立てである。

竹林 評価の視点はどこに置くのか。

町長 能力評価と業績評価の二本立てだ。望まれる職員像を提示して、これに照らして評価する。

竹林 職員の不安をどう克服するのか。たゆみない人材配転が必要だ。

町長 PDCAサイクルの浸透を図り、評価者との面談による意思疎通を最重視する。ノルマに陥らぬ職務目標の設定を行い、評価結果を伝えて、意思との整合性を取り、意欲を湧かせたい。組織統制の意味もある。「褒める」と「指導する」の徹底を図る。

竹林 教育長は学校での勤務評定の経験が豊富だ。教育長の人事評価観を問う。



竹林 昌秀 議員

教育長 学校は校長と教頭

以外は対等である。行政組織との差異はここだが、指導力を伸ばし、児童生徒の教育の成果を発揮するためのものであることは、町行政と通じる。

竹林 教育長の豊富な経験を生かせるか。また、上司と部下の淀みない人事配置が、人の相性を克服する手立てではないか。



勤務する庁舎

少子化対策

問 就学前給食費の無料化を
答 実施に向けて努力する

藤田 少子化対策として給食費の無料化導入をする考えはあるか。子育て支援の意味から就学前については特に必要ではないか。来年度実施にむけ、検討すること。

教育長 国の方でも検討されているが、具体的にはなっていない。町としては全体は難しいが、就学前については来年度実施にむけて努力する。

放課後児童クラブ

問 体制の充実は
答 努力している

藤田 現在放課後児童クラブは三年生までとなつているが、来年度は六年生まで完全実施と聞いている。完全実施にむけて、設備や指導員の確保はできるのか。



安心、安全な放課後クラブ



藤田 昌大 議員

教育長 質問通り来年度

完全実施にむけ取り組んでいるが、四条小については大規模改修後になるため三年度になる。指導員の確保については努力する。

小規模農業者

問 具体的な取り組みを
答 関係機関で協力を努める

藤田 農業委員会における小規模農業対策は議題になっているのか。国の施策として農地集積・集約化は法人等の育成で進んでいるが高齢者や狭小農地については取り残されている。具体的な取り組みをすること、また、小家畜（ヤギ・ウサギ）等の飼育に取り組んで除草や子どもとのふれあいを考えてはどうか。

町長 零細農家については支援はほとんどされていない。担当農業委員と自治会、所有者が協力して解消に努める。ただ当事者が県外在住者や相続人不在等問題も多い。

地域振興

問 ふるさと納税について

答 地方創生室を設置



白川 年男 議員

白川 自治体の税込アップを目的として平成20年創設された。一万円寄付すると二千円を除いた残りの額が控除の対象となり約半分程度返礼品として帰ってくる。本町の取り組みは？

町長 税込を補填する財源として大切。地元以外にも本町を応援、協力していただける方々と接点を深めたい。地方創生推進室を設置して準備にかかっているところだ。返礼品も再検討している。

農業振興

問 国の目指す農業とは

答 集落営農など制度・作物などを検討

白川 今の所「中山間直払い制度」「多面的機能制度」で農地を守っている。国、県、町において制度上、作物への今後の対応、流れを問いたい。



減反作物大豆

町長 国は集落営農（法人）、や認定農業者への支援が殆ど。個人については新規就農者への支援等がある。体質強化については法人化又、機械・施設整備に対し助成金制度がある。他県、町がこれらに上乗せする時もある。作物については国が米、麦、大豆に対し支援する制度があります。これも集落営農、認定農業者に限られる。町独自では、麦、ひまわり、そばへの補助金を出し奨励している。

地域おこし協力隊ひまわり振興

問 力が発揮できる体制を

答 新しい力を孤立させず活かすサポート体制を作る



川原 茂行 議員

川原 導入経験のない地域では、隊員を十分に活かしてきれていないケースもあるようだ。受け入れる自治体の準備不足が原因のひとつにあげられるのではないかと。本町ではどのように受け入れ体制を考えているのか。

町長 隊員が独力でひらく面もあるが、活動を隊員任せにしないことが重要であると考えている。その地域の住民やその地域で活動している組織、団体と連携を図り仲間をふやすなどネットワークの拡大が必要。地元の人を採用するなどして、専任でしっかりと協力隊員を支えるしくみも必要だと思っている。

仲間と活動できる環境を整え、隊員の個性や地域との関係性が活かせるような体制を作りたい。



ひまわりで町おこし

も必要だと思っている。仲間と活動できる環境を整え、隊員の個性や地域との関係性が活かせるような体制を作りたい。

林業振興で地球温暖化防止

問 健全な森林整備と水源確保を

答 総合的、計画的に推進しよう

川原 地球温暖化防止の有効な手段は森林の保全と整備である。また、森林の持つ、水源涵養機能は渇水の緩和などの効果もあり、森林の整備は大変に重要である。広大な森林面積を有する本町においての地球温暖化防止にむけた林業振興への取り組みについてのお考えは。また、森林機能の恩恵は全ての人々が受けているにもかかわらず森林の所在する自治体が、整備費の多くを負担しなければならぬのは不公平感がある。全国森林環境税の早期導入への取り組みは。

町長 林業生産などの経済的部分も活性化が必要であり、「地域木材利用促進補助事業」の創設をおこなうなど町産材の利用拡大に努めている。また、森林環境税の早期導入を求め意見書を県選出国會議員に提出し要望した。

中学校の運動場

問 水はけを確実に改良を行う

合田 雨天の場合には水たまりがで
きるなど、大変に水はけが悪い。学
校行事の際に駐車場として使用して
いるが、地面の状態が悪い時に、車
を入れると轍の原因ともなり、その
後の生徒の使用に支障をきたしてい
るのではないかと。早期の対策が必要
と考える。あらたな駐車場の整備と
運動場の水はけ改良工事については
どのように考えているのか。

町長 中学校・町立図書館・スポー
ツセンターまんのうの利用者用に、



排水の悪い運動場

①本年度（平成28年）は現地の
平面測量を行い、29年度には、詳
細測量、用地測量等を行う予定であ
る。
②南側の歩行者たまり部分について
は、仮舗装や側溝排水路への蓋掛け
を行っている。暫定的ではあるが、
交差点北側の信号機と電柱の移設に
ついては検討している。

合田 ①国道438号線長尾工区の
整備区間についての進捗状況は。
②マルナカまんのう店交差点付近改
良の進捗状況は。

問 早く歩行者の安全確保を
県とも協力し進めている

新たな駐車場の整備
について検討したが、費用対効果の
面もある。利用者の協力により何と
か乗り切れている状況なので今は考
えていない。運動場の水はけ改良工
事については実施させる。



合田 正夫 議員

治水対策

問 多治川ダムの再構築を
県に必要性を強く要望

三好 長年の懸案事項であった多治
川ダムの再構築についてもう一度思
い起こしてみてもどうか。昭和50年
当初より、調査費がつき、ボーリン
グ調査、環境アセスメントは終わっ
ている。着工するかどうかという状
態までになっており、過去には県の
ほうへ町をあげて陳情に行っている
（3回ほど）。最近、水道行政の一
本化との話題が持ち上がり、前向き
に進んでいる。まず、絶好の機会だ
と思う。ぜひ強力に。

町長 平成12年8月まで協議を重ね
ていくも、同年8月下旬に公共事業
抜本見直し検討会において、多治川
ダムが中止事業としてリストアップ
される可能性を示され、9月に公共
事業見直し委員会にリストアップさ
れた。

関係機関で協議を重ね、多治川ダ
ム建設計画の継続と早期事業着工に
ついての要望も行った。同年10月に
第五回香川県公共事業再評価委員会



ダム計画の復活を

が開催され、
「治水ダムとして計画を見直す対応
方針」が了承された。
しかし、最近の局地的豪雨、また、
異常なほどの降水量をもたらす大雨
による土砂災害被害、このような災
害を防ぐための治水対策は非常に重
要であることから、県に対して治水
対策の必要性を強く要望するととも
に、治水に対する対応策を協議して
まいりたいと考えているのでよろし
くお願いしたい。



三好 勝利 議員

町長 まんのう町内に設立された集落宮農法人は平成22年から毎年増加しており、現在8法人（仲南地区2、満濃地区6）であり、体系別でみると共同作業型が4、オペレーター型が4となっている。作付品目でみる



収穫を前にした麦畑

大西 まんのう町の基幹産業は農業。農業の振興が重要課題。政府に於いても、TPP農業対策として国産農産物の強化による食糧の安定供給、自給率向上、農家の減収を補填する保険制度の検討及び集落宮農の推進、即ち高齢化社会における持続可能な農業をめざし取り組んでいる。この集落宮農は大型機械導入助成や機械の共同利用によりコストを抑え農地の集積と計画的な作付けが効率的な作業に繋がり、集落内の女性や高齢者の知恵等の様々な職業の専門的知識や技術を活用し、協働作業は集落の絆が深まる等の多くのメリットがある。今後どのように取り組むのかまた集落宮農組織及び法人化の現状は？

と、米麦のみが6、米麦野菜の複合経営が2である。この集落宮農については平成27年に国が示した食糧・農業・農村基本計画において、力強く持続可能な農業構造の実現に向けて担い手の育成、農地の確保を核として展開、担い手の支援と謳われており、香川県農業改良普及センターが中心になり町農林課共に組織化に向け必要な助言指導を行っており、今後可能な限り支援を行ない強力に推進する。

問 高齢化社会における持続可能な農業

答 集落宮農への取り組みを強力に推進



大西 豊 議員

取材の足跡

町民のみなさん、取材にご協力ありがとうございます。



息の合った宣誓



楽しい七夕まつり（満濃南こども園）



讃岐平野に潤いを



志は高く



仲南地区 新規就農者

非農家から農家へ「燃える若者」

「耕作放棄地を何とかしたい」との熱い思いで経験のない世界へ飛び込んだ青年がいる。彼の名前は 増田優一さん31歳である。父、祖母、妻、子ども



相棒はトラクター

2人(1才、3才)の6人家族。現在、水稲50a、WCS(発酵飼料)70a、秋ブロッコリー50a、大豆70aとひとりで240aの作物づくり頑張っている。

農作業は天候に左右されやすく、また近年はイノシシ被害もあるなど、厳しさ、難しさもあるが、それゆえやりがいがあるという。

収穫の楽しみを子どもたちに教えて、家族みんなで農業の喜びを分かちあえるようになることが将来の夢だと語ってくれた。

心から声援をおくりたいと思います。頑張れ若き就農者。



秋には黄金色の稲穂に

神野地区の「勝手連ファーマーズ」の指導のもと、昔ながらの貴重な田植えを体験しました。

今月の表紙
満濃南小学校
「田植え体験」



秋の収穫が楽しみ

あとながき

農作業も一段落し半夏という時期です。行政においては小休止はありませんが、議会も四年任期の半分を過ぎ折り返しの時期です。広報委員会も人事一新しました。充実した内容を目指し議会活動を地域の皆様にお伝えしてゆく所存です。今年には特別の猛暑との予測もでていきますので広報誌を読みながらご愛ください。

編集委員長 白川 年男



議会広報特別委員会

- 委員長 白川 年男
- 副委員長 川西 米希子
- 委員 川原 茂行
- 委員 大西 豊
- 委員 白川 皆男
- 委員 白川 正樹



リサイクル可能な植物油インキを使用しています。

●この議会だよりは、四国新聞販売株式会社に委託し、町内の全世帯に配布しています。配布についてのお問い合わせは、まんのう町議会事務局 TEL. (73) 0109 まで